

伊那市

令和6年度 第1回  
天竜川上流 流域治水協議会  
資料2－4

# 取組事例の紹介（伊那市）

令和7年2月12日

## 【取組事例】 ①氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策

### 【田んぼダムの取り組み】

- アロン化成(株)が製作した樹脂製排水柵(アロン柵)を用いて、伊那市内の3ほ場において試験設置。
- 伊那市内のほ場への導入の平易性、営農への支障の有無、雨量流出ピークカット効果が得られるかを目的として実施。

#### 伊那市における「田んぼダムの取組み」試験実施について

令和5年度 10月4日～2月28日 市内3ほ場で試験実施(美篤、東春近、富県)  
令和6年度 6月10日～継続中 市内2ほ場で試験実施(美篤)

#### 【降雨量】

令和6年2月21日14時から22日11時までまとまった降雨があり、この時間(22時間)で累計47.5mmの雨量があり、22日10時前後に各ほ場の状況を確認した。

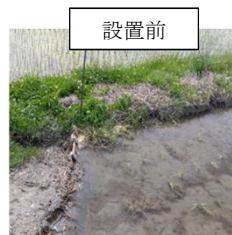
東春近 ほ場面積A=約2,800m<sup>2</sup>

#### 【設置方法】

- ・既存の排水管(VPφ100)へ差込み

#### 【効果】

- ・オリフィス部(φ50)が全て水没しており、流出量が抑制されている。



#### アロン化成(株)排水柵の特徴

- 取付けは既存の排水管へ挿し込むだけ
- 落水口は任意の位置で切断するため、口径の自由度がある
- 器具上面の鉛直部からオーバーフローした雨水を排水する

#### 試験実施における課題

【機能】非かんがい期での取り組みであったため、降雨量が少なくオーバーフロー時の排水機能確認(畦畔高さとオーバーフロー水位高の関連)が出来なかった。

【効果】水位計を設置しなかったため降水量と排水量の相関が取れなかった。ほ場ごとに異なる水持ち能力と畦畔高さによる貯留能力の差が不明。



### 【雨水貯留施設設置の取り組み】

- 令和4年度から「伊那市雨水貯留施設設置補助金」を創設し、個人宅へ100リットル以上の雨水貯留施設の設置に対し補助金を交付。
- 令和5年度、6年度は、市所有の公共施設へも雨水貯留施設(200リットル)を設置。

#### 伊那市雨水貯留施設の設置実績

令和4年度:個人住宅15件(500ℓ未満13件、500ℓ以上2件)  
令和5年度:個人住宅26件(500ℓ未満24件、500ℓ以上2件) 公共施設2箇所(上の原保育園・伊那北保育園)  
令和6年度:個人住宅8件(500ℓ未満7件、500ℓ以上1件) 公共施設3箇所(セントラルパーク・東春近小学校・美篤保育園)



補助率1/2 上限額 100ℓ～500ℓ 25,000円 500ℓ以上 50,000円

#### 【雨水貯留施設設置者の声】

- ・花壇や家庭菜園の水やりや子どもの水遊びに使っている。資源の有効活用としてとても良い。